



第二中だより

No. 569

開校54周年

生徒数448名

令和2年 7月1日

和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢1番4号

TEL 048-462-1793

FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>



「日々成長」

校長 橋本 真

令和2年5月25日、政府は「緊急事態宣言」を解除し、約3ヶ月ぶりに学校が再開されることになりました。緊急事態宣言解除となっても、依然として、毎日の新規感染者数等の報道は、解除前とそれほど大きな変化はなく、油断をするにはまだまだ早い状況です。しかし、学校が再開できることは大変喜ばしく、1日でも早く通常どおりの学校運営ができるための努力をしながらの再開となります。

約3ヶ月という今まで誰も経験したことがない臨時休業期間、外に出ることもままならない状況の中、様々なストレスや、言い知れぬ不安の中、生徒の皆さんは良く耐え、頑張ったと思います。また、保護者の方には臨時休業中、学校ができないことに対して様々なご助力をいただきましたこと、御礼申し上げます。さて、6月1日（水）分散登校から始まり学校生活も徐々に通常のリズムが戻ってきて、いよいよ部活動も再開します。

感染防止のため限られた学校生活ですが、久しぶりの仲間たちとの再会を喜び、校舎に生徒たちの笑顔が溢れた6月でした。

授業で大切なこと

授業については、新しい生活様式の導入も含め、新型コロナウイルス感染症対策を進めるため、教育活動の内容も工夫、検討しながら活動していきます。これまで同様の活動ができないことも含め、保護者の皆様にご理解とご協力をいただく場面も多いと思います。さて、学校では、新型コロナウイルスの感染予防はもちろん、熱中症予防にも留意しています。子どもたちの健康を第一に考えて取り組んでいきますので、今後ともよろしく願います。

学校生活が再開し 新しい学年、学級となり、約1カ月が経ちました。朝、昇降口でサーモグラフィによる検温に立っていると、生徒の皆さんの元気な挨拶、明るい姿にホッとしています。学校生活では、様々な事に取り組みます。少人数による清掃、本格的な給食が始まりました。協力して、いろいろな事を行います。その学校生活の中で、一番長く費やす時間は、授業です。50分間の授業の中では、様々な学習活動が展開されています。その学習活動を4つに分けることができます。

1つ目は、「書く」です。板書をノートに書く。

自分の考えを書く。他人の意見や発表内容を書く。実験観察を記録する。授業の振り返りを書く

2つ目は、「読む」です。文章を読んで、登場人物の心情を捉える。数学の文章問題をよく読んで、解答を導き出す。

自分の考えを書く。他人の意見や発表内容を書く。実験観察を記録する。授業の振り返りを書く

3つ目は、「話す」です。今は、感染拡大防止の観点から思うようにできていませんが、みんなの前で根拠をもとに説明する。友だちと相談する。

1つの課題を解決に向けて話し合う。

4つ目は、「聴く」です。先生の話聴く。友だちの考えを聴く。講演会で講師の講話を聴く。友だちの意見や先生の話で自分の考えが変わることがあります。勇気づけられる事もあります。

これら全ての学習活動が大切です。全ての授業は先生の話から始まります。何を考えるのか、どんなことを解決していくのかを明確にし、友だちの意見に耳を傾け、自分を成長させていく、それが50分の授業です。1時間、1時間の授業を集中して頑張ってもらいたいと思います。